



発行所

〒921-8517

金沢市泉野出町3丁目10-10

石川県立金沢泉丘高校内

一泉同窓会

電話 (076) 242-0211

FAX (076) 216-5656

2016. 3. 31. 発行

E-mail: issen.knz@hotmail.com



高校相撲連続100回出場の泉丘称え 5月21日夜に記念の祝賀会

一泉相撲部 OB会実行委 22日の応援団也大募集

今年の5月22日、金沢市卯辰山の森を揺るがす高校相撲金沢大会は100回目の大きな節目を迎える。昨年まで99回の連続出場を果たした母校・泉丘高校は当然、100回目の出場を目指している。夏の高校野球甲子園大会より2回も多く回を重ね、アマチュアスポーツでは



日本最長の伝統を誇るこの大会に、唯一100回連続出場する母校の栄誉を称え、一泉相撲部OB会実行委員会と一泉同窓会は大会前夜の5月21日に記念祝賀会、22日に大応援団の送り込みを企画、多くの一泉同窓生の参加を呼びかけている。

参加申し込みは同窓会へ

大正4年、学生角力大会として金石海浜・日和山下の特設相撲場で幕を開けた同大会は、同海浜・涛々園下、平和台（平和町）、兼六園球場（出羽町）と会場を移し、昭和36年から卯辰山での開催となった。この間、金沢一中は少年や中年の部で団体、個人とも優勝を重ね、真の全国大会となってからも同38年の第47回大会で水本（現能上）宏選手（泉丘16期）が個人優勝した＝写真中央＝。また、主催者がハワイやブラジルに派遣する優秀選手にも泉丘の選手が多く選ばれている。

文武両道の栄光の歴史の中で連続100回出

場を目指す泉丘の選手を励まし、祝うため一泉相撲部OB会は早くから実行委員会を立ち上げ、準備を行ってきた。5月21日午後6時から、金

沢駅前の金沢都ホテル5階加賀の間で開く祝賀会は会費1万円。歓談の合間には同実行委員会が制作した母校の変遷や相撲部・大会出場者の活躍を示すDVDが上映される。実行委員会では多くの一般同窓生の出席を募集している。希望者は一泉同窓会（FAX=076-216-

5656 Eメール=issen_knz@hotmail.com）まで申し込めばよい。また、翌22日の大会応援者も募っている。参加希望者は競技開始の午前8時半までに直接会場へ。入り口で「一泉同窓生」と名乗ってもらえば、招待券をさしあげる。

実行委員長は11期の田中史朗氏

一泉相撲部OB実行委員会員は次の皆さん。

◆委員長 田中(旧姓下)史朗(泉丘11期)

◆副委員長 車多壽郎(11期)、升田克良(14期)、能上(旧姓水本)宏(16期)、魚住昭文(24期)

◆委員 寺沢宏(11期)、田蔵弘(16期)、本田純一(20期)、鍋谷有介(29期)、中佐訓康(40期)



昭和17、18年ごろの一中相撲部
一泉同窓会 藤野正行氏所蔵

地区同窓会だより

27年度も1000人の大集会 創立122周年祝う一泉総会

創立122周年記念・平成27年度の一泉同窓会総会・懇親会が10月11日夜、金沢駅前のANAクラウンプラザホテル金沢で開かれた。今回は北陸新幹線開業で誘致した日本血液学会のため創立記念日の15日開催が出来なくなり、昭和30年の一泉同窓会結成以来初の開催



日変更となった。それでも約1000人が参加、主幹事の泉丘34期が決めた「伝統の継承と新しい時代へ～かがやきとともに～」のテーマを実感しながら、母校の発展に貢献することを誓い合った。

母校吹奏楽部の演奏に続いて開かれた総会で清水義博会長（泉丘22期）は、母校が高校相撲金沢大会に99回連続出場したことに触れ、「来年の100回大会を応援するために相撲部OB会が実行委員会を立ち上げ、激励祝賀会と大応援団を企画している。みんなで応援に

行こう」と呼びかけた。新屋長二郎校長は母校への多方面の支援に感謝するとともに今年度、文科省から新たにスーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定されたことを報告、従来の科学分野に強い人材育成（SSH）に加え、世界に通用する人間教育にも力を入れていくと母校の方針を説明した。続いて中山一郎事務局長（同10期）が26年度決算や27年度予算と事業などについて報告、総会を終えた。

懇親会は同34期の加茂谷慎治君と高橋園子さんが司会を務め、同期のモリ川ヒロト君が撮影・編集・作曲した金沢映像をバックに「炎太鼓」の一員・成田千恵子さんの勇壮な和太鼓演奏で幕を開けた。

最高齢は95歳の石崎さん（一中45期）

蚊谷八郎前同窓会会長（同14期）の乾杯発声＝写真＝で酒宴に入ると大宴会場「鳳」からロビー、続く「瑞雲の間」まで溢れんばかりの会場はたちまち大賑わいになった。歓談の合間には再び金沢映像が上映され、お楽しみ抽選会では最高年齢の石崎皓三さん（一中45期、95歳）と一番若い泉丘63期の河智博司君と沖野朋彦君（いずれも23歳）に特別賞のクッキーセットが贈られた。

全員で応援歌、一中・泉丘の校歌を歌い、担当幹事引継式では実行委員長の至極明子さん（同34期）がお礼のあいさつを述べ、来年度幹事の同35期代表の中村太郎君が「楽しい同窓会にします」と決意表明した。最後に林隆信一泉同窓会副会長（同22期）の発声で三本締めを行って閉会した。

26人が亡き諸先輩を悼む

一泉同窓会の平成27年度物故者慰霊祭が創立記念日の10月15日午後、母校の厳霜碑前で行われ、同窓生や学校関係者ら26人が玉串を捧げて亡き師や亡き級友の冥福を祈った。

一中は55期の中橋壽雄さんと56期の普神貴行さんの2人が元気に参加された＝写真＝。

石浦神社の長谷吉慶宮司が祝詞を奏上、清水義博会長、新屋長二郎校長、今年度の総会



・懇親会を運営した泉丘34期の至極明子実行委員長らが順に祭壇前に進み諸先輩を偲んだ。



泉丘34期代表の至極明子さんが11月9日、母校を訪れて新屋長二郎校長に「教育環境整備に役立ててください」と20万円を寄贈した＝写真＝。

トビックス

教育環境整備に20万円

泉丘34期が母校に寄贈

さる10月11日、ANA クラウンプラザホテル金沢で開かれた創立122周年記念一泉同窓会総会・懇親会の運営を担当した34期が当日、会場で一中・泉丘の校章入り LED ライト付ルーペやクリアファイルを販売、その益金を寄贈したもの。新屋校長は「趣旨に添い有効に活用する」とお礼を述べた。贈呈式には表治男副校長、正村泉一教頭が同席した。

総会での「一泉グッズ」販売で益金を母校に寄贈するのは、昨年の33期に続いて2年連続。

過去最高の410人が参加

関東一泉総会、絆深める

第57回・平成27年度の関東一泉同窓会総会・懇親会が10月17日、東京・新宿のハイアットリージェンシー東京で開かれた。今年の

幹事・泉丘36期が定めたテーマ「また会えた！時を超え、皆の気持ちは18才」の通り、参加した410人が一泉の絆を深め、それぞれの活躍と母校の発展を誓い合った。

幹事期36期の菊地延吉君と嶋崎幸恵さんが司会を務め、新谷修関東一泉同窓会会長（泉丘11期）が「今年3月に開業した北陸新幹線は我々と母校の距離を縮めてくれ、400人超えの大同窓会につながった」とあいさつ。清水義博本部長（同22期）は、来年母校が100回目を迎える高校相撲金沢大会に連続出場を目指していることを紹介、新屋長二郎校長は学校の近況を報告した。

懇親会は今年も元気に出席された古澤英雄さん（一中42期・97歳）の乾杯の音頭で始まった。協賛いただいた金沢の美酒、お寿司、銘菓の数々が振舞われ、故郷ゆかりの景品を



沢山取り揃えたテーブル対抗クイズも大いに盛り上がった。

エンディングタイムに入ると土井下健治36期代表幹事が自ら応援団長を務めて一中・泉丘の校歌を大合唱＝写真＝、土井下君のお礼のあいさつに続いて来年度幹事・同37期の斉藤秀之代表が決意表明、山岸章副会長（同17期）の閉会の辞と3本締めで名残を惜しみながら散会した。

建設機械レンタル・販売・修理 金剛産業株式会社

取締役会長 金岡 則夫 (泉丘6期)
代表取締役社長 金岡 賢二 (泉丘34期)
専務取締役 金岡 哲二 (泉丘42期)

金沢本社 〒921-8012 金沢市本江町11-30
TEL (076) 291-5503 FAX (076) 291-5502

小西建築構造設計

主宰 小西 義昭 (泉丘8期)
宮前 貴尋 (泉丘31期)

〒921-8034 金沢市泉野町6-15-1
TEL (076) 244-5615 FAX (076) 244-0511

造園・設計・施工
庭木・庭石・燈籠販売・貸盆栽

株式会社 伏見園

代表取締役会長 田中 一郎 (泉丘8期)

〒921-8044 金沢市米泉1-37
TEL (076) 241-4746 FAX (076) 203-0330
携帯 090-3295-9401



「金沢銘菓」をプレゼント にぎやかに関西一泉総会

関西一泉同窓会の平成27年度（第35回）総会・懇親会が6月6日午後、大阪市中央区城見のパノラマスカイレストラン・アサヒで76人が出席して開かれた。金沢から清水義博本部長（泉丘22期）や新屋長二郎校長、恩師の室木直彦先生ら6人に加え、今秋の一泉同窓会総会を運営する泉丘34期の織田兼太朗実行副委員長、中川裕美クラス幹事の2人も特別参加した。

泉丘27期の高瀬誠一君と35期中村嘉克君が司会を務め、関西の片瀬貴文会長（一中55期）が歓迎のあいさつ、続いて清水本部長が祝辞を述べ、新屋校長が母校の近況を報告した。

懇親会は八日市屋健治郎さん（一中51期）の乾杯の音頭で始まった。恒例の金沢の銘菓が当たるラッキープレゼントでは、今年も岡谷雄二さん（泉丘19期）のユーモアあふれるプレゼンターぶりに会場は笑いに包まれた。最後に一中・泉丘の両校歌を斉唱＝写真＝、高橋初枝副会長（同4期）の中締めで宴を閉じた。今回も片瀬会長からお土産に松任の「あんころ」が全員に贈られた。

いつものように北新地の「珠洲」（松尾ゆ

きえさん経営・通信12期）で二次会が行われ、歓談の輪をさらに広げた。

新会長に田多野さん（泉丘15期） 2年ぶりに野々市一泉開く

平成27年の野々市一泉同窓会が6月20日、同市の情報交流館カメラア2階のホールで開かれた。2年に一度の開催で総勢67人が出席した。総会に先立ち、元母校の校長で石川県立歴史博物館長も務めた徳田寿秋さん（泉丘12期）が「軍艦発機丸と加賀藩の俊傑たち」と題して講演した。

総会では安田彦三会長（同9期）の退任に伴う役員改選が行われ、田多野和彦事務局長（同15期）が新会長に選出され、さらに後任の事務局長は高橋賢一さん（同27期）が選ばれた。2人の新任あいさつに続いて清水義博一泉同窓会会長と新屋長二郎校長が祝辞と母校の近況を報告した。

泉丘の校歌斉唱＝写真＝の後、今回の最年



少参加者の梅木花奈子さんと西村悠佑君（共に同62期）の乾杯の音頭で懇親会が始まった。地域を同じくする先輩と後輩、親友同士の久しぶりの顔合わせに話が弾み、あっという間に1時間半が過ぎ、中村伸一郎副会長（同4期）の万歳三唱で名残を惜しみながら散会した。（河上純子＝泉丘43期・記）

株式会社 KDFホールディングス

代表取締役
社長兼CEO 金岡 久夫（泉丘12期）

グループ本社
〒920-0231 金沢市大野町4-レ40-172
TEL (076) 239-2100 FAX (076) 239-2110

WLB ウィルビー株式会社

代表取締役 加藤 肇夫（泉丘14期）

〒920-0061 金沢市間屋町3丁目7番地
TEL (076) 237-7667 FAX (076) 237-7900
URL : <http://will-b.jp>

株式会社 金太

鉄鋼・機械・建設資材

取締役会長 南 昭武（泉丘14期）

取締役社長 南 志郎（泉丘42期）

本社 〒921-8561 金沢市泉本町5-61
TEL (076) 242-3333(代) FAX (076) 280-8080

松任一泉から白山一泉へ 発展めざして名称変更

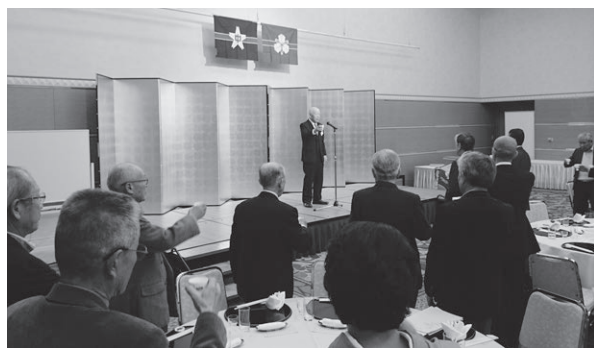
松任一泉同窓会は11月21日に総会・懇親会をグランドホテル白山で行った。当日は一中OBの先輩を筆頭に鶴来、美川地区の同窓生を含め74人が出席した。

総会では青木桂生会長（泉丘13期）のあいさつの後、平成26年度決算と27年度予算案が承認され、さらに、白山一泉会への名称変更及び会員対象を白山市内全域に拡大する会則の改正が承認された。今後は、これまでの松任一泉会としての伝統を礎に、新たな会員の獲得や会の一層の発展に会員一同が努めていくことを確認した。

引き続き行われた講演会では、同市吉野の願慶寺候補衆徒である吉峯教範氏が、「富樫氏と一向一揆」と題して話された。

懇親会では冒頭、来賓紹介が行われ、一泉同窓会の清水義博会長（同22期）が祝辞を述べ、新屋長二郎校長が母校の取り組みや生徒たちの近況を報告した。

続いて最年長・岡野重和さん（一中57期）の乾杯の音頭で酒宴に入った＝写真＝。途中、恒例のビンゴゲームを交えながら和やかな雰



最年長・岡野重和さんの音頭で乾杯

囲気の中で、1年ぶりの再会や新たな出会いの喜びを感じながら、世代を超えた同窓の輪を広めた。

最後に一中・泉丘の校歌を斉唱し、福田裕副会長（泉丘18期）による中締めが行われ、今後の会の拡大・発展と来年の再会を誓って散会した。（米田和功＝泉丘44期・記）



三馬一泉が27年連続開催

三馬一泉同志会の第27回総会・懇親会が7月6日、金沢市野町4丁目の割烹料理「むとう」で一中49期から泉丘16期までの12人が出席して開かれ＝写真＝、母校の思い出話や地域の話に花が咲いた。

私・北島（泉丘8期）が司会、総会で田中一郎会長（同期）が「同窓の知人、友人に参加を呼びかけ、会員増につなげたい」とあいさつ、大西俊治前会長（同7期）の乾杯発声で酒宴に入った。途中、初参加の鍋谷日出雄さん（同5期）が紹介され、「近くに住む先輩、後輩が共通の話題を肴に酒を酌み交わすのはいいものだ。今後ともよろしく」とあいさつした。金沢らしい旬の味に舌鼓を打ち、最後に北実さん（同12期）が「来年も元気に集まろう」と結んで閉会となった。

（北島敏男＝泉丘8期・記）

大地の総合コンサルタント



株式会社 **ホクコク地水**

代表取締役 **尾蔵 博**（泉丘15期）

〒921-8021 金沢市御影町25-1
TEL (076) 241-7158(代) FAX (076) 243-2422(代)

北川ヒューテック株式会社

代表取締役会長 **北川 義信**（泉丘15期）
取締役会長 **北川 真**（泉丘27期）
取締役副会長

〒921-8584 金沢市神田1-13-1
TEL (076) 243-2211 FAX (076) 247-2145

株式会社 中村ポンプ

代表取締役 **中村 進**（泉丘15期）

専務取締役 **中村研太郎**（泉丘41期）

本社 〒920-0378 金沢市いなほ1-5
TEL 076-240-1122(代) FAX 076-240-1134

一中・泉丘 各期の集い①



◆泉丘2期が新幹線開業祝って同窓会

一中56期・泉丘2期(未申会)は北陸新幹線の開業を祝って6月10日、湯涌温泉かなや旅館で同窓会を開いた。

未申会は太平洋戦争末期の昭和19年に旧制金沢一中・一高女・二高女などに入学、翌20年の敗戦、同23年、24年と二度にわたる学制改革と離合を余儀なくされ、落ち着いた環境での十分な中等教育を受けられなかった世代だが、泉丘の旧校舎で学んだ仲間を束ねたユニークな同期会である。

これまで還暦、古希、喜寿、傘寿と節目ごとに同窓会を開いて旧交を温めてきたが、80歳前後から物故者が目立ち始めて参加者が激減、今回は15人と言うこじんまりした同窓会となった＝写真上＝。それだけに感慨深い、和気あいの楽しい会だった。

(世話人、普神貴行・記)

◆泉丘4期が3年連続昼食会同窓会

平成27年度泉丘4期生の新盆昼食会同窓会が7月14日、金沢ニューグランドホテルで開かれた＝写真中＝。昼食会形式は3年連続で男25人、女23人の48人が出席した。

総会は藤井修副会長が司会、159人の物故者に黙祷を捧げて校歌を斉唱、山崎昭一郎会長が歓迎のあいさつをした。続く懇親会は同

じく副会長の私・酒井が司会に回り中村外茂治君が謡曲「鶴亀」を披露、長田八栄子さんの乾杯の音頭で酒宴に入った。杯を酌み交わす内、長谷川芳子さんの新舞踊「恋する城下町」、村井道子さんのフラダンス「あなた」と続き、高木祝子さんのマジックショーも恒例となって予定の時間がアッという間に過ぎた。

坂井治三郎幹事長の中締め、私・酒井の閉会の辞で盛会裏に一次会を終えた。同ホテル内で会場を変えての二次会也大いに盛り上がり、最後はお互い健康での再会を約して散会した。
(酒井 浩・記)



◆関東泉丘4期は横浜で昼食会

関東泉丘4期生会は4月15日、横浜駅南口のシェラトンホテル8階の日本料理「木の花」で開かれた。金沢から山崎昭一郎4期生会会長と副会長の私・酒井 浩をはじめ全員で男9人、女12人の21人が出席した＝写真下＝。始めに総会が開かれ上田廣次君があいさつ、28年度の幹事・世話役に指江幸雄君、生垣昌子さん、幸村鹿子さん、清水嶺子さんの4人を決めた。
(酒井 浩・記)



内装・家具
(株)誠和インテリア山本
代表取締役 **山本 武生** (泉丘16期)
〒920-0965 金沢市笠舞2-2-12
カリヨン笠舞ビル2F
TEL (076) 222-8881 FAX (076) 222-3611

うるおいの家づくり
株式会社 嶋源木建
SHIMAGEN
代表取締役 **嶋谷潤一郎** (泉丘17期)
〒920-0357 金沢市佐奇森町イ132-1
TEL (076) 267-1124 FAX (076) 268-2758

総合建設業 ISO 9001 ISO 14001 認証取得
土木・建築・港湾・設計施工
南建設株式会社
MINAMI
会長 **南 哲郎** (泉丘17期)
石川県羽咋郡志賀町高浜町レ71の1
TEL (0767) 32-0017(代) FAX (0767) 32-4032

◆泉丘7期傘寿記念同窓会に70人参加

泉丘7期の傘寿記念同窓会が6月7日、栗津温泉の「のとや」で開かれた。2年ぶりの開催で70人（男37人、女33人）が出席してにぎわった＝写真＝。

広部欣也君の司会で亡き級友108人（前回より8人増）に黙祷を捧げ、私・加茂が歓迎のあいさつを述べた。続いて北村喜久雄、村上喜久男、吉田紀幸、和田英夫の4君によるめでたい謡曲「高砂」が披露され、金川琢雄君の乾杯の音頭で酒宴となった。いつものように思い出話や近況報告で盛り上がり、アツと言う間に終宴時間となって応援団の織田浩治、藤田実、村上喜久男の3君のリードで校歌を大合唱、関東代表の山崎利彦君の中締めで一次会を終えた。



場所を変えての二次会は関東7期会の白尾三樹会長が改めてあいさつ、空くじなしで全員にふるさと銘菓やワインなどが当たる抽選会を楽しんだ。後はカラオケ大会で再び盛り上がり、最後に村田静夫君があいさつ、今後也有志による同窓会を続けていくことを再確認して閉会となった。（加茂正則・記）

◆28人集まり恒例の関東八泉会開く

毎春恒例の関東八泉会（泉丘8期）が今年も4月3日午後、東京・市ヶ谷の「アルカディア市ヶ谷・白山の間（7階）」で開かれた。金沢から福田太睦八泉会代表幹事と兼田泉君、



私・茶屋勝也の3人が出席、総勢28人の集いとなった＝写真上＝。

幹事の荒木二夫君が開会を告げ、関東の宮丸凱史会長と福田代表幹事があいさつ、鷲田巖君の乾杯の音頭で懇親会が始まった。眼下に外堀の満開の桜堤を眺めながら佐々木信憲君の司会で、出席者全員がスピーチ、楽しい2時間を過ごして同期の絆を深めた。

最後に岡田紘美副会長が「健康に留意して来年も元気に会おう」と締めくくった。

（茶屋勝也・記）

◆関東泉丘9期会が銀座で同窓会

平成27年度の関東泉丘9期同窓会が11月19日、東京・銀座2丁目のアンテナショップ「いしかわ百万石江戸本店」3階の錦繡楼で開かれた。会員32人が参加、新鮮な加賀料理と金沢のお酒など金沢三昧のもてなしに盛り上がり、楽しいひとときを過ごした。

金沢からFMディスクジョッキーの上丸満君が参加、北陸新幹線の開通で観光ブームとなっているとのふるさと報告があった。

二次会は同じビル8階のカラオケルームで行われ、杉森醇子さんのフラダンスなどが披露され、再び盛り上がった。最後に埼玉女声合唱団のリーダー・小村純子さんの指揮で校歌を斉唱、都合4時間にわたる同窓会の幕を閉じた。（天日雄三郎・記）

21世紀の環境創造

K 株式会社 柿本商会

取締役社長 柿本 自如（泉丘18期）

〒920-0346 金沢市藤江南2-28
http://www.kakimoto.co.jp

日本海建設株式会社

取締役社長 小柳 正彦（泉丘18期）

専務取締役 小柳 誠（泉丘25期）

〒921-8027 金沢市神田1-3-10
TEL076-243-3131 FAX076-244-1599
http://www.nihonkai-k.co.jp

ISO9001：2008認証取得

千代野建設株式会社

代表取締役 長 福田 裕（泉丘18期）

〒924-0865 白山市倉光6-25
TEL 076-274-2121 FAX 076-274-2244
URL : http://www.chiyono.co.jp/



◆泉寿会・関西は熊野へ、関東は新年会

泉丘10期・関西泉寿会の総会・懇親会は、6月25日から27日まで和歌山県南紀白浜温泉の「よみうり白浜クラブ」連泊で行われた。金沢から10人、関東から3人の総勢27人が参加して旧交を温めた＝写真上＝。

初日の25日は新大阪駅から観光バスで白浜温泉へ。総会で役員改選などを行い、懇親会では海鮮料理を堪能した。校歌斉唱で一次会を終え、カラオケルームへ移動しての二次会は遅くまで歌声が続いた。

二日目の26日はバスで本宮大社に詣でた。途中4回もバスを止めて中辺路コースの古道散策を楽しんだ。また、三日目の27日は安珍・清姫で有名な道成寺を拝観、マリーナシティ黒潮市場経由で新大阪駅に向かい、名残を惜しんで散会した。

一方、関東泉寿会恒例の平成28年新年会が1月31日の午後、東京・四谷の主婦会館プラ



ザエフで開かれた。金沢から若林茂樹泉寿会会長ら8人、富山、愛知から各2人、関西から河島和子副会長と31人が集まった。

関東の金子兵衛会長が歓迎のあいさつ、加藤修君の乾杯の音頭で酒宴に入った。途中、森礼子さんの新舞踊、安原由紀子さんのフラが華を添え、全員当選のビンゴゲームなどで楽しいひとときを過ごした＝写真左下＝。

◆泉丘11期が7年ぶりに同窓会

泉丘11期生同窓会が11月19日の昼、金沢駅前のホテル金沢で開かれた。春に開通した北陸新幹線を利用して県外からも多くの同窓生が駆け付け、総勢98人が参加して旧交を温めた＝写真＝。

大川兼紀君の司会進行で始まり、冒頭96人の物故級友に黙祷を捧げた。続いて春の叙勲で旭日双光章を受章した車多壽郎君、秋の叙勲で旭日小綬章に輝いた深山彬君、北國生き



がいスポーツ賞を受賞した井波豊英君の功績を披露してお祝いした。

7年ぶりの同窓会なので最初からボルテージは上がりっぱなし。応援団で鳴らした井波君のリードで校歌を高らかに斉唱、茶谷十六君（秋田県）の中締めでお開きとなった。

終了後もお互いの話は尽きず、別会場で二次会を行い、思い出話に花が咲いて本当に楽しい時を過ごした。（村本敬一・記）

株式会社 鈞谷建築事務所

代表取締役
社 長 松井 邦義 (泉丘18期)

〒921-8035 金沢市泉が丘2-14-7
TEL (076) 242-5271(代) FAX (076) 242-5250



建築設計
(有)加藤與晴空間工作室

代表取締役 加藤 與晴 (泉丘23期)

〒920-0016 金沢市諸江町中丁348
マンボウ2F
TEL (076) 237-0541 FAX (076) 237-2765



株式会社 五井建築研究所

代表取締役 西川 英治 (泉丘23期)

〒920-0061 石川県金沢市問屋町2丁目1番地
Tel (076) 237-8441 FAX (076) 238-9094
E-mail: office@goi.co.jp http://www.goi.co.jp



◆懐かしい金沢弁で関東緑窓会

泉丘12期の関東緑窓会が6月3日、千葉県のJR京葉線・新浦安駅に隣接したオリエンタルホテル東京ベイのレストラン・グランサランクで24人が集まって開かれた＝写真上＝。

今回の幹事は広村万嘉、高村紘一、板野美津子、東和子の4人で、たっぷりフランス料理のバイキング&飲み放題を楽しんだ。金沢から小間井宏尚代表幹事が急遽参加、最近開通した北陸新幹線による賑わいや同期生の近況をたっぷりと懐かしい金沢弁で報告してもらった。初めはやや遠慮がちに最後は堂々と校歌を4番まで歌い切り3時半頃、今年の幹事による関東一本締めで、全員の健康と来年の再会を約し解散した。（高村紘一・記）

◆泉丘12期の七夕同窓会に115人

泉丘12期「緑窓会」が7月7日、金沢ニューグランドホテルで開催され、5年ぶりの再会を楽しんだ。3月の北陸新幹線開業効果で各地から大挙115人が集い、七夕同窓会として旧交を温めた。

林勝一君の司会で小間井宏尚会長が開会のあいさつ。物故者90名（卒業531名中）に黙祷を捧げた後、林道子さんが歌うシャンソン「生きる」が披露され、卒業55年の感慨と亡き友への追悼を込めた美しいメロディーに聴き入った。

全員で校歌斉唱のあと、懇親会に移った。広村万嘉・関東緑窓会会長の発声で乾杯、和やかな歓談の合間には馬替敏治君によるDVD「お久しぶりです」の映写と解説が雰囲気をつくり盛り上げた。やがて肩を組み合つての応援歌合唱が続き、中山信雄副会長が閉会のあいさつをし、名残を惜しみながらの散会となった。そのあと、ホテル内の二次

会会場に移動し、時間を忘れての親睦交流に話題は尽きなかった。（H・K 記）

◆泉丘14期が恒例の忘・新年会

泉丘14期恒例の忘年会が12月14日、金沢市主計町の鍋割烹「みふく」で行われ、女性6人を含む33人がカキ鍋に舌鼓を打った。

また、明けて2月15日（14日が日曜のため一日延期）には、いつもの年の通り同市東山1丁目の焼き鳥「ちょう吉」で新年会が開かれた。こちらは26人の出席で、蚊谷八郎会長が「今年も元気に過ごし、14期の存在を示そう」とあいさつ、美味しい焼き鳥で生ビールの盃を重ねた。（穴戸 範・記）



◆泉丘17期古希を祝う会に102人出席

「17（いーな）古希の会」と銘打った泉丘17期の記念同窓会が10月23～24日に、山中温泉の「花つばき」で開かれ、全国から102人の同期生が集まった＝写真右上＝。

会は、記念撮影の後、歓迎アトラクションとして芸妓さんの山中節と同期生の丸川靖子さんの「金沢弁のシャンソン」が披露されて開宴となった。司会進行役は東智子さんと小生福田が務め、まず62人の物故同期生に黙祷を捧げた。続いて嶋谷潤一郎世話人代表があいさつ、広島から参加の大黒雄二郎さんの乾杯の音頭で、和やかな懇親の宴が始まった。

歓談の合間に全員がステージ上に並んで近況を報告しあい、金、銀、銅賞併せて20本の豪華景品が当たる抽選会がにぎやかに行われ、一同大いに盛り上がった。あつという間に終宴の時が迫り、加賀・江沼神社宮司の熊田亮さんの一本締めで中締めとなった。

その後の二次会にはほとんど全員が参加、カラオケと歓談を楽しみ、元気組は再度場所を変えての三次会に臨み、最後に校歌を斉唱してお開きとなった。（福田雅幸・記）

「泉丘高校」の校名由来

わが母校「石川県立金沢泉丘高等学校」の名がどうして付いたのだろうか。平成27年暮れに「丘がつく高校のヒミツ!」というタイトルでテレビ金沢の取材を受けた。明けて1月5日午後、金沢桜丘、金沢錦丘、金沢辰巳丘と共に放映された。番組を見た同窓生から「そんなことがあったのか」と多くの電話をいただき、反響の多さに驚いた。そこで「校名の由来」をもう一度整理してみた。

「金沢第一高校」は1年だけ

明治26年、金沢市本町1丁目の真宗大谷派西福寺敷地内に石川県尋常中学校として誕生したわが校が同32年、石川県第一中学校と改称された。その2年前には本多町に校舎を新築して移転していた。さらに40年には石川県立金沢第一中学校（金沢一中）となり、昭和12年に現在地に移った。

旧制金沢一中が55年の歴史を閉じたのは、昭和23年の学制改革の実施による。「教育の民主化」の徹底を図るGHQ（アメリカの占領政策）により、学校教育は6・3・3制に改められた。

5年制だった金沢一中は3年制の石川県立金沢第一高等学校と名を変えた。しかし、過渡的な形で発足した「一高」の内容は、依然として男子校のままだった。

そこで翌24年には学区制（通学区域を定めた小学区制）、総合性（普通科教育だけでなく商業科、家庭科を含む）、男女共学の新制高校三原則の導入で、一高と言う名は1年で石川県立金沢泉丘高等学校に変わった。

校門右門柱の校名板



昭和24年に「金沢泉丘」に 新制高校三原則導入で改称

それではなぜ「泉丘高校」になったのだろうか。金沢一中泉丘高校百年史に次のような記述がある。

二校から「桜丘高」案

昭和24年4月から新制高校三原則の一つの小学区制に基づき、金沢市内に総合制高校が四校設けられることになり、校長予定者が3月のある日、三高（後の桜丘）に集まり、校名を検討した様子が記されている。その時、はからずも「桜丘」と言う校名が二校から出たとある。



昭和12年ごろの校庭。泉野原と呼ばれた通り大乘寺山が丸見え



一級建築士事務所

(株)細川計画設計

代表取締役 細川 斉 (泉丘23期)

〒921-8155 金沢市高尾台3-5
TEL (076) 296-3722 FAX (076) 296-3782
E-mail: cohosoka@lilac.ocn.ne.jp



株式会社

宮地組

取締役 会長 宮地 治 (泉丘23期)

本社 / 〒928-0001 石川県輪島市河井町6-35
TEL (0768) 22-1281代 FAX (0768) 22-5956
金沢支店 / 〒920-0935 金沢市石引1-15-22
TEL (076) 262-6666代 FAX (076) 231-2003



株式会社 若崎建築設計工房

代表取締役 若崎 浄人 (泉丘23期)

〒921-8133 金沢市四十万町206-1
TEL (076) 298-4400 FAX (076) 298-7575

結論から言うと四校の名は金沢泉丘、金沢二水、金沢桜丘、金沢董台に決まった。が、その少し前の一高の学校新聞「いずみの原」(昭和24年2月15日発行の第7号)に「泉野原高校」に改称されるという記事がみられる。強行される学校再編に反対する記事だが、当時は校名に関して色々な名が挙がっていたようだ。

話を元に戻して、最初に桜丘にしたいと名乗った二校はどこか記していないが、わが校もその一つだろう。

理由は二つ考えられる。金沢一中の別名は「桜章校」で校章に桜花が用いられている。また、移転時に植えられた約80本のソメイヨシノは見事に咲き誇るまでに成長していた。

逆に「泉丘」に落ち着いた理由はどうだろうか。昭和12年、金沢一中が本多町から現在



桜満開の泉丘高校

に、学校のある場所を丘(岡)と観じて寮歌に多く取り入れられているとし、必ずしも高い所に位置しなくても丘と称したとある。一高寮歌の向ヶ丘、三高の神楽岡などを例に「本来の高みに憧れ、高きに在って俗界を睥睨(へいげい)する高校生の姿勢と好みに合うから」と述べている。

「戦後の流行語」と言う視点では、昭和22年から25年までNHKで放送された菊田一夫作のラジオドラマ「鐘の鳴る丘」の影響も多少考えられるのでは…。復員兵と戦災孤児が明るく強く生きる物語は、大勢の人々に丘に対する一種の憧れを抱かせた。

以上のような流れの中で誕生したわが「泉丘(いずみがおかと読む)高校」だが、その時代時代の生徒たちの努力によって、今や一中時代に負けない県下屈指のナンバースクールとなった。同窓会事務局としてちょっと残念なのは、手紙やメールの中で「泉ヶ丘」とか「泉カ丘」と表現する同窓生がまだ少し見られることである。これを機に「泉丘」(いずみがおか)を再認識してほしい。

一時は泉野原高校の名も 地名の「泉」に憧れの「丘」を

地に移転する前のこの地は「泉野原」と呼ばれており、同23年、一高になった時に学校新聞を発足させた上谷親夫さん(同市円光寺3丁目)らは新聞名を「いずみの原」とし、現在に続いている。また、学校周辺には泉が丘、泉野町、泉野出町、泉、泉本町、西泉など「泉」のつく町名が多い。

「泉ヶ丘」と書かないで

では「丘」はどうだろうか。「百年史」には丘は戦後の「流行語」であり、「理想」や「憧れ」を意味したとある。

若井勲夫(日本史)著の「旧制高校寮歌の言葉と表現」(京都産業大学論集37号)の中

海洋土木株式会社

北陸営業所

所長 **魚住 昭文** (泉丘24期)

〒920-0812 金沢市南御所町97
TEL/FAX (076) 201-8251

みなみ設備工業(株)

代表取締役社長 **新保 良介** (泉丘24期)

本社 〒921-8163 金沢市横川3-177
TEL(076)247-2101 FAX(076)272-8265
野々市 〒921-8835 野々市市上林5-33
本部 TEL(076)248-3730 FAX(076)248-3356

石材工事 設計 施工

橋爪石材工業(株)

代表取締役 **橋爪 良三** (泉丘24期)

白山営業所
〒924-0076 白山市法仏町649番地
TEL076-276-1449 FAX076-275-8475

一中・泉丘 各期の集い②



◆泉18期・おはこ会が17回目の同窓会

泉丘18期・おはこ会の17回目の同窓会が4月29日、北陸新幹線の開通でにぎわう金沢駅前の「ガーデンホテル金沢」で75人が集まり、恩師の楠禎一郎、安高徹の両先生を迎えて盛大に開かれた＝写真＝。

高校卒業50年。節目の年の幹事は35ホーム。まず、この1年に逝ってしまった3人の友に黙祷を捧げ、寺中聰代表幹事の指揮で「高校三年生」を合唱して会が始まった。遠来組や初めての参加者も、山下盛義さんの軽妙な司会で大いに楽しんだ。用意されたアトラクションは北山吉明さんの「ゴンドラの歌」のみだったが、大合唱となった。

来年の代表幹事の丘村誠さん、一泉同窓会代表委員の荒磯千舟さんのあいさつの後、恩師の長寿健康法を鑑に、新幹線効果も期待して再会を約束、一泉同窓会副会長の新村康二さんの一本締めで散会、それぞれの二次会へと流れた。（川合明子・記）

◆第7回関東おはこ会に31人集う

第7回関東おはこ会（泉丘18期）の総会・親睦会が6月27日夜、東京・新宿のハイアットリージェンシー東京で開かれた。金沢から新村康二一泉同窓会副会長ら4人が出席、総勢31人が集まって旧交を温めた＝写真＝。

山本星子さん、田川久美さん、表明子さん、小関彩子さんの女性陣4人が司会を務め、長元正春会長のあいさつで総会が始まり、役員改選で長元会長が再選された。

続いて新村一泉同窓会副会長のあいさつ、丘村誠次期代表幹事の乾杯の音頭で酒宴に入った。余興では今や恒例となった岡田秀樹君が大相撲の遠藤関応援の甚句を披露、山本さんの日本舞踊「黒田節」などと続いて会場は盛り上がった。最後に南修治君のバイオリン伴奏と今戸詩美さんの指揮で校歌を合唱、中村祐副会長の閉会の辞で一次会を終えた。同じ会場での二次会はカラオケ大会となり、いっもの美声が続いた。（深田進・記）



◆泉丘20期が5年ぶりに同窓会

泉丘20期の同窓会が8月23日、湯涌温泉の「かなや」で5年ぶりに開かれ、58人が出席して旧交を温めた。

今回は裏千家茶道教室の岡島恵美子さんと表千家同の竹田千里さんの二人が主席を務めて、同旅館の茶室で「歓迎茶会」を催し、参加者全員が心温まる一服を楽しんだ。

会は42人の物故級友に黙祷を捧げ、私・西川孝蔵代表幹事のあいさつと乾杯の音頭で始まった。久しぶりの同窓会に北陸新幹線の開業も相まって、初参加者が10人もあり歓談の輪が広まった。場所を変えての二次会でも思い出話や近況報告が続いて、深夜までにぎわった。（西川孝蔵・記）

人・暮らし・未来を見つめる

城東建設株式会社

代表取締役 水内 健之（泉丘24期）

〒920-0942 金沢市小立野5-2-22
TEL (076) 222-8111 FAX (076) 261-8112

(有)風建築設計工房

代表取締役 建築家 笠島 理（泉丘25期）

〒921-8116 金沢市泉野出町4-13-26
グリーンアーツ2F
TEL076-280-3443 FAX076-280-3445

K 建築総合研究所

所長 小林 正澄（泉丘25期）

〒920-0856 金沢市昭和町8-7
フロームビル3F
TEL076-263-8100 FAX076-263-8104

◆泉丘21期の5年ぶり同窓会に130人

泉丘21期の同窓会が10月30日、金沢ニューグランドホテルで開かれた。還暦記念同窓会以来5年ぶりの開催で、恩師の普神貴行、安高徹両先生を含め関東、関西地区や遠く福岡市からも級友が駆け付け総勢130人参加の大同窓会となった。

山本隆文君が司会・進行役を務め、27人の物故者に黙祷を捧げた後、柏野博英代表幹事が歓迎のあいさつを述べ、クラスごとに分かれて(10クラス)記念写真を撮った＝写真中は1ホームの皆さん＝。

懇親の酒宴は再度登壇した柏野君の乾杯の音頭で始まった。途中、両先生にあいさつを頂いたほかはもっぱら歓談の時間。いつものように高校時代の思い出話に始まり、それぞれに近況を訪ねるうちにアツと言う間に2時間半が過ぎた。最後に校歌を斉唱、「5年後は長すぎる」と3年後の再会を約して閉会した。



ホテル最上階に移っての二次会にもほとんどが参加、街へ繰り出し深夜まで頑張った三次会組も多かったようだ。翌31日には有志20人が金沢セントラルカントリー倶楽部に集まってゴルフを楽しみ、友情を深め合った。

(北川信重・記)

◆泉丘25期が大還暦に向かってスタート

平成27年8月14日(金)午後6時、ANAク



ラウンプラザホテル金沢「鳳の間」。上階からのアングルによる全体集合撮影ですでにリラックスした中、多田拓也さん、島村俊子さんの司会で開会した。参加者は恩師11名、同期生118名の計129名である＝写真上＝。

今年の呼び物は、平尾隆さんのピアノと河野和子さんのボーカルによる本格的なジャズ3曲。そして、中野素さんの物故者法要・黙祷、高見太郎実行委員長、恩師を代表して楠禎一郎先生の挨拶のあと、恒例の「加賀鶴」「菊姫」の鏡割りで豪華に乾杯。発声は、今年最後に60歳を迎えた河越起久子さん。泉丘25期「四つ葉会」全員が120歳の大還暦へのスタートとなった同窓会なのである。

最初は3年のクラス単位で始まり、次に1年のクラスへ、2年のクラスへと席替えし、歓談は大いに盛り上がった。「時間」「空間」「人間」の三つの「間」を青春の多感な時期に共有したことの意義は大きい。この齢になって、余計にその感慨を深めた時間だった。

締めはいつものように島村さんのピアノ伴奏と島野幸一さんのリードによる校歌斉唱、藤田繁治副実行委員長の閉会挨拶、岡田宣之終身事務局長の感謝の言葉、最後に5年後の再会を約して散会となった。(松村信子・記)

株式会社 越田建築環境計画

代表 越田 俊一郎(泉丘26期)

〒920-0336 金沢市金石本町イ5
TEL(076)267-1171 FAX(076)267-1172

飛島建設株式会社
北陸支店

支店長 田中 善彦(泉丘26期)

支店 〒910-8576 福井市宝永4-9-13
TEL (0776) 22-0723



前田建設

東京土木支店 西本 哲二(泉丘26期)
執行役員支店長
北陸支店 永田 健二(泉丘38期)
土木営業部長
中部支店 種本 勝明(泉丘45期)
建築営業チーム長

本社:東京都千代田区富士見二丁目10番2号



◆泉丘26期が還暦記念同窓会

泉丘26期の還暦記念同窓会が8月14日、金沢市広坂のしいのき迎賓館「ジャルダン ポール・ボキューズ」で69人が参加して開かれた。

最初に物故者17人に追悼の黙祷を捧げた後、乾杯を挙げ歓談に入った。宴が盛り上がったところで、かつてのホームごとに一人ひとりが現況報告を行った＝写真上＝。我々26期生は高校3年生の秋に石油危機が起こり、その後も幾多の社会の荒波に揉まれ続け、その苦労が窺われた。久しぶりに金沢に来たと言う者も多く、近年の町の変貌と新幹線開業に伴う観光地の賑わいに一様に驚いていた。積もる話は尽きなかったが、同期の皆の健勝とまたの再会を願いつつ、一本締めで宴を閉じた。(宮崎謙治・記)

◆恩師4人を囲み泉37期が同窓会

泉丘37期同窓会が平成28年1月3日、金沢駅前の「八兆屋駅の蔵」で開かれた。恩師の野澤正夫、大野郁夫、安田俊彦、畑野禎の4先生方を含め総勢56人が集まり、盛会となった＝写真右中＝。

まず37期代表幹事の村上啓太君、次に関東一泉同窓会代表幹事の斉藤秀之君があいさつ、大野先生の乾杯の音頭で酒宴となった。最近の同窓会で何度か顔を合わせている人もあれ

ば、ほぼ30年ぶりに再会する人もあって、会場には終始楽し気な笑顔があふれた。

今年は我が37期が関東一泉同窓会の幹事と言うことで、金沢からの応援ツアーの話も出て一段と盛り上がった。

名残を惜しんでホテル金沢ラズベリーでの二次会にも30人余りが参加して話が弾んだ。次は夏？はたまた10月？。再会を約束しつつ帰途に就いた。(山元真紀子・記)



◆泉丘66期初の同窓会に175人出席

泉丘66期の初めての同窓会が12月30日夜、金沢市片町の「Double」で開かれた。クラスごとにラインを活用して参加を呼びかけ、175人が顔を見せる大同窓会となった。

京都から駆け付けた村上健祐君が乾杯の音頭を取って、酒宴が始まった。高校を卒業してまだ1年8か月しか経っていないのに、みんな懐かしくて近況や高校時代の思い出を話し合う光景がしばらく続いた。また、わずかの間に印象が大きく変わった人もあり、驚きの声があちこちで上がった。

会の途中でビンゴゲームが行われたが、ディズニーランドの宿泊付きペア入場券や豪華景品が用意され、番号の発表に一喜一憂して大いに盛り上がった。

お開き後もクラス単位や部活仲間などで二次会に繰り出す様子が多くみられ、深夜まで青春を謳歌したようだ。(濱坂佳武・記)



風と、水と、太陽と。

総合建設コンサルタント

株式会社 東洋設計

代表取締役
社長 森 耕二 (泉丘27期)

本社 〒920-0016 金沢市諸江町中丁214
TEL (076) 233-1124(代) FAX (076) 233-2113



高田産業株式会社

金沢 彩の庭ホテル

代表取締役 高田 直人 (泉丘28期)

〒920-0043 金沢市長田2丁目4番8号
TEL 076-263-6311 FAX 076-263-6318

舗装工事施工、アスファルト合材製造販売
産業廃棄物処理(下水汚泥焼却灰、がれき類)



株式会社 金沢舗道

代表取締役 向井 健夫 (泉丘28期)

本社 〒920-0043 金沢市長田2丁目4番8号
港工場 〒920-0231 金沢市大野町4丁目103番1
TEL (076) 223-4858/FAX (076) 263-6318

トピックス



第88回アカデミー賞の授賞式が2月28日(日本時間29日)、米ロサンゼルス・ハリウッドであり、長編アニメーション部門の候補に挙げられていた野々市市出身、米林宏昌監督(泉丘44期)＝顔写真・インターネットから＝の「思い出のマーニー」(スタジオジブリ)は残念ながら受賞を逃したが、地元からは称賛の声が上がった。

「思い出のマーニー」は英国の児童文学が原作。北海道東部を舞台に、12歳の主人公の杏奈が外国人の少女マーニーとの交流を通じて成長する姿を描いている。

候補作品は1月14日に発表された。野々市市では同26日に市役所前に祝福の懸垂幕を掲げた＝写真右＝。幕は縦7.8メートル、横1メートルの大きさで、「おめでとうございます」として、ノミネート部門、作品名、監督名を入れ、そ

出身地・野々市市は称賛

米林監督(44期)「思い出のマーニー」受賞逃す

の下に栗田出身と書かれている。市は米林監督の母校の市立富陽小と野々市中にも祝いの横断幕を掲げていた。

授賞式の日、野々市市役所では同級生や来庁の市民らが発表を見守った。BS放送でアニメ部門の結果が発表されると「残念だ…」「次に期待だ」などと声が上がった。栗貴章市長(同31期)は「世界で活躍する監督となり、ノミネートされただけでも野々市市の大きな誇りだ。次回作を楽しみにしている」と話した。

同市では懸垂幕や横断幕を3月末日まで掲げて、米林監督を称えた。



平成27年度の「一泉行列」が9月1日午前、清水義博一泉同窓会会長(泉丘22期)ら同窓生約70人を含む総勢460人が参加して行われ、沿道の市民・県民に「一中魂を受け継いで文武両道に励む泉丘」をアピールした。

一中跡地の金沢歌劇座前で出発式を行い、時折小雨のぱらつく中、一行は吹奏楽部の校歌や応援歌の演奏に合わせて母校を目指した。同窓生の中でひととき目立

「一中魂」の継承を訴え

一泉行列 OBら70人も参加



ったのは同16期の広瀬靖久さんと山本武生さんの応援団コンビ。広瀬団長は羽織、袴に高下駄ばき。山本副団長は北陸新幹線と金沢駅の鼓門をあしらった被り物姿で片町→有松→母校と約4.5キロを歩いた＝写真＝。また、10月11日の一泉同窓会総会・懇親会を運営する34期の至極明子実行委員長ら8人もプラカードを持って歩き、同窓会への参加を呼びかけた。



株式会社 本田工務店

代表取締役 本田 正敏(泉丘29期)

〒921-8063 金沢市八日市出町75番地
TEL(076)249-6213(代) FAX(076)240-1510

建築設備設計・監理

株式会社 アスカ設備研究所

代表取締役 宮江 勇治(泉丘30期)

〒924-0032 石川県白山市村井町47-2
TEL(076)275-7060 FAX(076)275-4746



大臣許可第16229号

株式会社 コデラ

専務取締役 小寺 悟(泉丘31期)

〒920-2131 石川県白山市森島町う138-1
TEL(076)272-0852(代) FAX(076)273-3675
E-mail: kodera-hon@p2292. nsk.ne.jp

文化・運動部 OB 会だより



桜美会美術展 87人の109点展示

一中・泉丘高校の美術部 OB と愛好家による一泉桜美会の43回目の美術展が10月20日から25日まで、金沢21世紀美術館市民ギャラリーで開かれ、多くの観賞客でにぎわった＝写真＝。

会場には会員52人による作品73点と在校生35人の36点の合計109点が展示された。絵画、陶芸、工芸、写真、書などいずれも力作そろいの中で、ひときわ目を引いたのは100歳記念に出品した一中39期・村田尚一さんの水彩画「野菜」。村田さんは5年前まで油絵を出品していたが、施設に入居してからも水彩画を楽しんでいる。今回は後輩たちの呼びかけに応えての出展となった。また、一中47期の三須徹さん(92歳)も120号の水墨画「時代のあと」を出して元気なところを見せていた。

春の小品展も力作でにぎわう

同会は5月15日から20日まで、母校近くのグリーンアーツギャラリーで39回目となる小品展を開催、41人から55点の力作が出展され、こちらにもにぎわった。

(茶屋勝也＝泉丘8期・記)

7年ぶりにバレー部同窓会

一泉バレーボール部同窓会が7月11日、金沢ニューグランドホテルで開かれた。7年ぶりの開催で一中49期から泉丘65期までのOB・OG 会員や恩師の元監督ら53人が出席、思い出を語り合って親睦を深めた＝写真＝。

砺田和史会長(泉丘9期)が「今回は3年後の一中創立125周年、泉丘誕生70周年に開催したい」とあいさつ。一中卒部員97人、泉丘卒は男女合わせて910人の総勢1007人のうち物故部員は179人で、その冥福を祈って黙祷を捧げた。

元男子監督の田村昌俊先生(同6期)、同女子の吉田亮一先生(同24期)、現女子監督の藪野秀一郎先生らからあいさつや報告があった後、最長老の長井外喜保先輩(一中50期)の発声で乾杯して酒宴となった。各テーブルでは先輩後輩の壁を超え、時代時代の思い出話に花が咲いた。若手の小川翔也君(泉丘64期)や北川梨絵さん(同65期)も終始楽しそうだった。

終盤では近藤隆大先輩(一中55期)が打ち振る応援団旗に合わせて一中校歌を、私・山本のリードで泉丘校歌を斉唱、さらに盛り上がった。最後は神奈川県から駆け付けた橋本輝男君(泉丘22期)の中締めで散会となった。

(山本武生＝泉丘16期・記)



松本大建築設計事務所

代表 松本 大 (泉丘33期)
一級建築士

〒920-0864 金沢市高岡町23-18-1 F
TEL&FAX (076) 222-3800
E-Mail : info@matsumotodai.jp



一般建設業
株式会社奥田建設

取締役 奥田 譲一 (泉丘34期)

〒924-0825 白山市菅波町50番地
TEL (076) 276-3523 FAX (076) 276-3056

家のことは、人のこと。

西内工務店株式会社

代表取締役 西内 一博 (泉丘34期)

〒924-0023 白山市成町127番地
TEL (076) 276-2457 FAX (076) 276-2459
URL http://www.nishiuchi-k.co.jp

野球部 OB 会 寺口新監督に期待

一泉野球部 OB 会の第18回総会が8月12日、金沢エクセルホテル東急で会員40人が出席して開かれた。

総会は宮地治会長（泉丘23期）が議長に就き、平成26年度の事業と決算を報告、27年度の事業計画と予算案が承認された。また今年度は役員改選があり、宮地会長を再任、新任の幹事として干場聡史（同27期）、結城一隆（同42期）、馬場弘勝（43期）、漆師大佑（同54期）の4氏が承認された。

引き続いての懇親会では宮地会長があいさつ、来賓の新屋長二郎校長が祝辞を述べ＝写真＝、今年度新しく就任した寺口結監督が



野球部の近況を報告、山崎昭一郎顧問（同4期）の発声で乾杯して酒宴に入った。途中、寺口新監督の今後の抱負にみんなが耳を傾け、若いながらも高い指導力に期待し、OB会全体で新体制をサポートしていくことを誓った。

最後に母校の甲子園出場に向け全会員で支援の輪を広めることを誓い、校歌を斉唱して閉会した。（谷端時宗＝泉丘43期・記）

一泉バスケ 交歓試合や総会

平成25年夏に再発足した一泉バスケットボール部OB・OG会（会員約900人）の2回目



の総会・懇親会（隔年開催）が27年8月8日、ANA ホリデイイン金沢スカイホテルで男52人、女36人の計88人が出席して開かれた＝写真＝。

幹事長の私・高木が司会、この2年間に亡くなった3会員に黙祷を捧げた。総会では規約の一部を改正、新たに各期に男女の代表幹事を置き、総会参加者増などきめ細かな活動を期すことを決めた。

総会では八田伸一会長（泉丘16期）が歓迎のあいさつを行い、大阪から参加の松本哲さん（同）の乾杯発声で酒宴に入った。和やかな歓談が続く中で卒業期ごとに壇上に上がって自己紹介、16期と25期がインターハイ出場などの活躍ぶりなどについても語った。2時間半の宴会時間がアッと云う間に過ぎ、野尻雄二副会長（23期）が「2年後、29年8月12日にこの会場で、また元気で会おう」と締めて閉会した。

これに先立ち、同日朝から母校近くの市立泉野体育館を貸し切って先輩対後輩、OB対現役生などの交歓試合が行われ、楽しい汗を流した。席上、八田会長から現役男女チームに激励費として各10万円と、練習用ボール各1ダースがプレゼントされた。

（高木英良＝泉丘23期・記）

林建築設計工房

代表

林 正人（泉丘34期）

〒921-8171 石川県金沢市富樫2丁目1-27
TEL/FAX 076-242-0457
E-mail msshayashi@ybb.ne.jp
URL <http://www.harchitect.com>

株式会社 浦建築研究所

代表取締役 浦 淳（泉丘36期）

取締役専務 鈴野 孝（泉丘22期）

本社 TEL (076) 261-4131
〒920-0964 石川県金沢市本多町3-11-1
東京事務所 TEL (03) 5797-7815
〒106-0044 東京都港区東麻布2-33-2-301
支所：中国大連 営業所：富山 | 高岡

鹿島建設(株)金沢営業所

所長 釜谷 秀治（泉丘37期）

課長 北野 朋達（泉丘44期）

〒921-8035 金沢市泉が丘2-9-7
TEL (076) 241-7318 FAX (076) 247-7851

投稿二題

私達二人が一泉桜美会に出品するようになって随分経つ。夫は55歳から油絵を、私はその数年後から水彩画を始めた。もうかれこれ15年になる。初めは別々に習っていたが、10年ほど前から同じ教室に通うようになった。

絵の教室は楽しい。定年になった人達がほとんどだが、月2回、真剣に取り組む2時間。そして笑顔に…。『西房浩二（指導の先生）と行く紺碧のアドリア海を描く』と

言うようなスケッチツアーが毎年企画され、私は6回も参加させてもらった。

その旅がまた、いい。約10日間、全国から集まった20数名で朝から夕方まで描く、描く。昼食は景勝地のしゃれたレストラン。ちょっぴりワインやビールをたしなみ、ほんのり顔でまた描く。ホテルは2、3箇所です連泊。疲れたら自分の部屋で一休み。命の洗濯ってこう言う事なんだとしみじみ思う。

2011（平成23）年3月11日14時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0、最大震度7の大地震が発生した。それに伴う津波や福島第一原子力発電所の事故などでこれまでに死者約1万5900人、行方不明者約2600人に上っている。東日本大震災の発生で、あれから早くも5年の月日が経った。

あの時、わが一泉同窓会は「被災地医療施設支援事業」と銘打った義援金募集を行い、

7月中旬に宮城県石巻市民病院の眼科仮診察室と患者待合室を完成させた。自分

はたまたまこのプロジェクト事業の提案者の一人だが、一泉同窓会だからこそ成し得た事柄だと誇りに思っている。

大震災の一週間前、私は同期の一級建築士・堀誠君（26期）と同じ一級建築士・寺崎悠真君（49期）と会食し、災害時の仮設住宅について話し合った。その直後の出来事だったので、17日には支援のプロジェクトチームを発足させ、3人の役割を決めた。現地で

習い事を通じて命の洗濯

泉丘17期 東 智子



昨今、ヨーロッパはいろいろと物騒になって来た。夫は「智子はもうヨーロッパに行かなくてもいいやろ」と心配してくれる。だから海外へのスケッチ旅行はもう無いかも知れないが、今までの旅の記録を整理したりするだけで、まだまだ楽しめそうだ。

私と夫は共に泉丘高校の卒業生である。が、旅先で知らない人から「あなた達夫婦は話が合いますか?」とよく聞かれる。他人から指摘されるまでもなく、二人は好みも考え方も違う。それなのに何故か公民館の俳

句教室やヨガ教室にも一緒に通っている。そして一泉桜美会と一緒に作品を出し、一泉同窓会にも一緒に出席している。きっとああだ、こうだと言いつつで一つの事を2倍楽しんでいるのでしょう。

ひなげしのアドリア海の風を浴ぶ ゴーギャンの泊まりし宿の藤の花 絵筆とるリラの花咲くブルタニュー そして終わりに夫の一句を。啓蟄や碁盤の上の謡本

投稿二題

は仮設住宅に対する支援があるが、壊滅的な医療関係施設をどうするかが問題だった。

堀君は前から関心を持っていた加賀市の会社のドームハウスが、医療施設に利用できないかと交渉を開始、私は同窓会の義援金集めとドームハウスの共同研究を行っている金沢工大の泉屋利郎理事長（同窓会副会長、14期）

に協力を求めた。いま思うにこのプロジェクトの成功は、まさに一泉同窓会のネ

ットワークの結晶であり、自分が一泉同窓生であることを誇りに思った。その後、石巻市民病院は新築され、我々が寄贈したドームハウスは市役所管轄で公民館の事務局として使われている。

自然災害といつも隣り合わせの日本では、東日本大震災のことを風化させず、個々人だけでなく社会全体で危機管理を意識し、備えることが大切だと感じている。

東日本大震災から早5年

泉丘26期 池田 真一



OB 講演会から

先輩11人を招き「語る会」
進路選択など身近に学ぶ

各界で活躍する泉丘高校出身の先輩から話を聞き、進路選択の参考にする平成27年度の「社会人と語る会」が11月3日、2年生の普通科生徒360人を対象に開かれた。今回は文部科学省から新たに指定されたスーパーグローバルハイスクール (SGH) 事業の一環としての開催で、5、6人が講堂でパネルディスカッションする従来方式を改め、11人が招かれた。会場も11カ所に分かれ、生徒は自分の希望する講師の下に出席でき最初は第一希望、次は第二希望に回り二人の講師から身近に学べる方式に変わった。講師は自分の仕事内容や喜び、苦勞、後輩たちが高校生として身に付けてほしいことなどを話し、生徒たちは勉強の仕方などについても質問した。

講師を引き受けてくれたのは次の皆さん。

◆〈公務員・文〉石川県企画振興部新幹線・交通対策室の内田滋一交通政策課長 (34期) ◆〈公務員・理〉金沢市役所農業振興課の本田希世香さん (45期) ◆〈法律関係〉東京・さくら共同法律事務所の松村昌人弁護士 (40期) ◆



内田滋一さん



本田希世香さん



松村昌人さん



松林賢司さん



中村孝治さん



村上啓太さん

〈国際関係〉元三菱商事商社マンで現金沢工業大学の松林賢司経営情報学科教授 (36期) ◆〈ビジネスⅠ〉中村孝治税理士事務所の中村孝治税理士 (39期) ◆〈ビジネスⅡ〉起業家でジョブシステムの村上啓太代表取締役社長 (37期) ◆〈医療関係Ⅰ〉能登総合病院脳神経外科の喜多大輔医師 (41期) ◆〈医療関係Ⅱ〉コメヤ薬局薬剤師の長基優子さん (35期) ◆〈機械・電気・電子関係〉澁谷工業プラント技術本部製薬設備技術部の宮崎隆部長 (35期) ◆〈建築関係〉竹中工務店大阪本店設計部の山田義浩副部長 (35期) ◆〈コンピューター関係〉PFU 第三技術部の柿本章博プロジェクトマネージャー (38期)



喜多大輔さん



長基優子さん



宮崎隆さん



山田義浩さん



柿本章博さん

増山氏、台湾について講演



平成27年度の国際理解講演会が1月28日、修学旅行の事前研修を兼ね啓泉講堂で開かれた。今回も講師は金沢市ふるさと偉人館の増山仁学芸員 (泉丘29期) =写真=で、今秋に訪台する1年生400人に対し「台湾の歴史と少数民族・八田與一 (一中11期) の果たした役割」と題して講演した。

特に修学旅行の見学コース・八田技師建設の烏山頭ダムについてはプロジェクターを使って詳しく説明、生徒たちは同技師が「台湾の父」と尊敬されていることを理解した。


株式会社 ピーエス三菱

金沢営業所長 小林 和弘 (泉丘37期)

〒920-0031 金沢市広岡1-5-23
金沢第一ビル2F
TEL (076) 234-9110 FAX (076) 234-9755
http://www.psmic.co.jp

新しい建設サービス業の展開


みづほ工業株式会社

代表取締役社長 梅谷 基樹 (泉丘42期)

〒921-8064 金沢市八日市5-562
TEL (076) 240-7010 FAX (076) 240-6620
http://www.mizuho-co.com
E-mail: m-umetani@mizuho-co.com



株式会社 慶伊組

代表取締役専務 谷端 時宗 (泉丘43期)

〒920-2326 白山市木滑16番地
TEL076-255-5111 FAX076-255-5115

NSH 特別講義 「太陽系大航海時代に見る夢」

石川県教委指定のNSH（ニュースパーハイスクール）特別講義が3月4日、母校の啓泉講堂で橘省吾北海道大学大学院地球惑星システム分野准教授（白山市美川町出身、泉丘43期）を講師に迎えて開かれた。橘准教授は1、2年生800人に対し「太陽系大航海時代に見る夢」と題して宇宙や地球の謎について講演、「努力すれば、誰も見たことのない世界が見えることもある」と、目いっぱい学ぼう後輩たちに諭した。

橘准教授と言えば平成26年11月、鹿児島県種子島の宇宙センターから打ち上げられた「はやぶさ2」が、目指す小惑星「1999JU3」からより多く、より大きな資料を採集して持ち帰るための部品の設計や開発に携わった時の人。もちろん同32年の帰還後に備え資料分析準備も進めている。

幼いころ、惑星探査機ボイジャーが真っ暗闇の宇宙空間にポカンと浮かぶ美しい球体たちの姿を、それ自身も美しい球体の一つである地球に届けてくれた時、惑星たちの色とりどりの姿に魅せられた—と言う橘さんは、泉丘から大阪大学理学部宇宙地球科学科に進んだ。その後、同大学の博士課程、東京大学助手、助教、北海道大学講師と研究者の道を歩み、同25年に宇宙科学研究所（JAXAの研究機関）太陽系科学研究系客員准教授も務める。

講演の中で橘准教授は自分の略歴に触れた

「努力で未知の世界が見えることも」



宇宙の面白さを通して勉強への努力を語る橘准教授

橘北大准教授（泉丘43期） ——後輩たちに語りかける

後、太陽系の誕生と進化、水はどこから、惑星の石を取りに行く目的などについて話し、次のように述べて結んだ。

太陽系や地球は誕生以来、沢山の分岐点に出会い、必然の理由・偶然の理由で一つを選択し、進化してきた。皆さんの分岐点はこれからたくさん訪れるが、その選択を結果的に最良のものとする努力をしてほしい。選択を「必然的に」最良にする準備は可能で、それは皆さんが取り組んでいる日々の勉強であり、生きるための基礎体力となる。努力で見たことのない世界が見えることは「良く考えることのできる人」だからだ。高校生活を目いっぱい楽しんで、目いっぱい学んで、将来の自分への投資も少し考えながら過ごしてほしい。

A.D.O.OKEMURA

株式会社 桶村設計

代表取締役 一級建築士 桶村 秀人（泉丘44期）

金沢本社 〒921-8013 金沢市新神田1-12-7
白山事務所 〒929-0224 白山市美川中町イ151
Tel076-291-3137 Fax076-291-3390
E-Mail okemura@spacelan.ne.jp
一級建築士事務所・建物の設計、工事監理、耐震診断・補強計画
（一社）石川県建築士事務所協会会員・ISO9001:2008認証取得

建築・設計・監理

株式会社 土倉建築事務所

専務取締役 土倉 拓樹（泉丘45期）

事務所 〒921-8178 金沢市寺地2-15-3
TEL (076) 244-6321 (代) FAX (076) 244-6404



加賀建設株式会社

代表取締役 専務

鶴山 雄一（泉丘51期）

〒920-0337 金沢市金石西1丁目2番10号
TEL 076-267-1161 FAX 076-267-1164

母校だより

前後の壁がボード教室登場 特別教室棟の工事も完成

平成27年7月から行われていた母校・泉丘高校の第二期耐震・大規模改修工事（5階建て特別教室棟）が12月末までに完成、明けて28年1月上旬から始まったプレハブ仮校舎の解体・撤去・グラウンドの修復作業も予定通り3月いっぱい終了した。生徒たちは26年4月以来3年ぶりに騒音と振動から解放され、安全・安心の教育環境が整った。

理科系の階段教室や実験室、音楽、家庭科教室のある山側の特別教室棟は、昨年7月上旬にグラウンドのプレハブ校舎に引っ越し、耐震壁の工事を行っていた。併せて教育環境充実のための改修工事も実施された。

その代表が5階の理科講義室（Iスタジオ）。教室前後の壁一面がホワイトボード化され、



プロジェクターでスライドを映したり、パソコンでの書き込みもできる。教師が一方的に教える講義形式でなく、生徒たちがグループを作って協力しながら学ぶ。対話的な要素を組み込み、学んだ知識や技術を活用するアクティブ・ラーニング教室＝写真＝なのだ。

トピックス

○…母校中庭のシンボル・円形花壇の赤松が植え替えられた。従来の松は昭和57年、現校舎の完成時に植えられたもので、約8メートル



中庭の赤松を植え替え

高さにまで成長していた。ところが近年、樹勢が衰え枯れ出したため27年9月、中庭の整備を機にお役御免になった。

○…新しい松は石川県造園業協会が、27年度の伊勢神宮奉納松として育てていたうちの1本。高さはまだ3メートル弱の幼木だが＝写真＝、ドーム下から見ると腰をちょっと左に振った魅力ある姿。植え替え業者は「泉丘の生徒と競い合って成長することだろう」とほめちぎっていた。

中庭のタイル一新、テーブルベンチも

同時に一般教室棟と特別教室棟、啓泉講堂に囲まれた中庭（約150平方メートル）も整備された。アーチ下から奥のタイルブロックが張り替えられ、講堂側の食堂前から中庭に出入りもできるようになった。講堂側の一段高くなった広場にはテーブルベンチが3台置かれ、好天の日には談笑したり、ノートを広げる生徒たちの姿が見られるようになった。



株式会社 **山越**

代表取締役会長 **山越 昭雄**（泉丘11期）

■本社 〒920-0001 石川県金沢市千木町70番1
TEL (076) 257-9101 (代) FAX (076) 257-9119
■東京支社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目12番18号
TEL (03) 5413-7778 (代) FAX (03) 5413-7766

<http://www.kai-p.co.jp/>



印刷・出版・マーケティング・eビジネス

株式会社 **橋本確文堂**

代表取締役社長 **橋本 勝郎**
（泉丘12期）

営業本部 〒921-8025 石川県金沢市増泉 4-10-10
TEL: (076) 242-6121 FAX: (076) 243-7945
東京支店 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-18-12
TEL: (03) 5472-7030 FAX: (03) 5472-5101

www.mba.co.jp

27年度一泉賞

3人に贈呈

平成27年度の「一泉賞」が3月3日の全日制卒業式の席上2人に、同6日の通信制卒業式で1人に清水義博一泉同窓会会長から贈呈（賞状とトロフィー、副賞の図書カード1万円分）された。同6年に創立100周年記念事業の一つとして設けられたもので、学業と課外活動を両立させた生徒に贈られる。

今年度の受賞者は次の皆さん。

◆田中 勇貴君 1年次から3年間、将棋の県大会ですべて優勝して全国大会に出場。2年次の第50回全国高校総合文化祭将棋大会（個人）で準優勝、3年次の51回大会でも準優勝した。温和な性格で礼儀正しく、対局反省会では冷



静に分析、後輩の面倒もよく見て指導した。

◆清水 雄大君 2年次の第9回科学地理オリンピック日本選手権兼第12回国際地理オリンピック選手権大会で金メダルに輝いた。客観的に物事をとらえ、分析する能力に優れ、向上心にあふれ学習態度は積極的。学級行事でも縁の下



◆白鳥 汰麻子さん 将来薬剤師になることを目指して努力を続け、各教科とも優秀。特別活動では3年間生徒会に所属、1年次は常任委員、2年次は会計、3年次は副会長を引き受けるなど中心的立場で活躍、学園祭では準備、運営などで他の生徒の模範となっていた。



泉丘と建國中が姉妹校に

4月22日 八田技師縁に調印式

母校・泉丘高校と台北市の建國高級中学校の姉妹校協定調印式が4月22日、泉丘高で行われ、両校は相互訪問を通じて教育・文化・スポーツ・科学・社会分野などで交流を一層発展させることになった＝写真＝。

校長室での調印式で新屋長二郎校長が「両校の交流と友情が深まることを期待する」とあいさつ、建國高級中の陳偉泓校長が「協定は歴史的なこと。永く交流が続くことを願っている」と応じた。

両校交流の橋渡しをしたのは、平成26年12月に亡くなった「八田技師夫妻を慕い台湾と友好の会」前世話人代表の中川外司さん（泉丘8期）。中川さんは平成22年、泉丘高が台

湾への修学旅行を実施したのを機に、台湾の水利事業に貢献した八田興一技師の母校・金沢一中（現泉丘高）と八田技師の長男の母校・台北一中（現建國高級中）の交流を呼びかけ、その実現に尽力した。式には八田技師の兄の孫八田守さん（66）と中川さんの妻喜子さん（74）も同席した。

この日、建國高級中は3回目の泉丘高訪問で、日本語を学ぶ1～3年生ら80人が啓泉講堂でこの秋に訪台する泉丘高の2年生との交流会に臨んでお土産を交換したり、授業や部活も見学した。

母校・泉丘高校が平成27年度の石川県高校総体で総合4位に入った。中でも男子は103点で第2位と健闘した。

トピックス 泉丘は総合4位 27年度の高校総体

総合成績は上から金沢、星稜、金沢東と私立勢が続き、公立高校では泉丘がナンバーワンだった。テニスの男子が団体2位、山岳も2位、その他の競技もベスト4か8が多く、「文武両道の泉丘」の健在を示す活躍ぶりだった。

平成27年度一泉文庫寄贈・購入本

書 名	著 者	購入・寄贈者
中小企業診断士298日間の海外支援奮闘記	吉村 守 (泉丘27期)	寄贈・吉村 守 (泉丘27期)
知ってほしい台湾	中川外司 (泉丘8期)	寄贈・松嶋芳恵 (旧姓八田・泉丘33期)
忘れられない人 (八田與一と私のかかわり)	謝新發	寄贈・松嶋芳恵 (旧姓八田・泉丘33期)
誰にも書けなかった台湾	謝新發	寄贈・松嶋芳恵 (旧姓八田・泉丘33期)
誰にも書けなかった日本人	謝新發	寄贈・松嶋芳恵 (旧姓八田・泉丘33期)
回想録 愛と死と永遠と	山本正治 (一中39期)	寄贈・松嶋芳恵 (旧姓八田・泉丘33期)
2015アクタス4月号 (東大・京大入試速報)	北國新聞社	購入
2015アクタス5月号 (難関10大学合格高校ランキング特集)	北國新聞社	購入
たづがねつうしん 鵠が音通信1・2	工藤こずゑ	寄贈・工藤こずゑ
「朱木」東京版10号	金沢一中54期・朱木会東京支部	寄贈・金沢一中54期・東京朱木会
やわらかな記号	小川みなみ (本名なみ・泉丘21期)	寄贈・小川なみ (泉丘21期)
新しい森	小川みなみ (本名なみ・泉丘21期)	寄贈・小川なみ (泉丘21期)
奇人★変人★大天才 紀元前から19世紀	小川みなみ (本名なみ・泉丘21期)	寄贈・小川なみ (泉丘21期)
奇人★変人★大天才 19世紀・20世紀	小川みなみ (本名なみ・泉丘21期)	寄贈・小川なみ (泉丘21期)
軍艦発機丸と加賀藩の俊傑たち	徳田寿秋 (泉丘12期)	寄贈・徳田寿秋 (泉丘12期)
地域ゆかりの偉人 台湾 新社台地を潤した磯田謙雄さん (一中18期)	磯田謙雄ブックレット編集委員会	寄贈・金沢市城南公民館
二つの大戦の裏面史 日本が知らなかった世界	佐藤正弥 (一中57期)	購入
出陣学徒の自省	安嶋 彌 (一中47期)	寄贈・安嶋 彌 (一中47期)
登山紀行 山に魅せられて (上・下)	林 信子 (泉丘12期)	寄贈・林 信子 (泉丘12期)

文科省指定で国際人育成

泉丘がスーパーグローバル高に

母校・泉丘高校は27年度から文部科学省の「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」に指定された。国際的に活躍できる人材の育成を図るもので、26都道府県の56校が選ばれた。指定期間は5年間で、各校には年間1600万円を上限に事業費が交付される。県内では昨年度指定された金大附属高に次ぐ2校目で、全国の指定校は112校となった。

泉丘の事業は文系と理系の「文理融合」が特徴で、エネルギーや水、防災といった国際的な課題に関し、政策提言できるリーダーの養成に取り組む。計画では1年普通科の全員が、現代社会について議論する力をつける「思考基礎」、統計学の手法を学ぶ「探究基礎」、コミュニケーション能力を高める「グローバル英語」の三つの新課目を週5時間受ける。

28年度からは2年のクラス(9クラス)のうち1クラスを「スーパーグローバルコース」として学習内容を充実させる。エネルギーや化学物質、水や食料、防災・減災、高齢化の4テーマで研究する。建設機械大手のコマツなどの協力で海外・県外研修も実施する。

通 信 制 だ よ り

全国定通総体 卓球で品川君優勝



泉丘通信制2年の品川和基君＝写真＝が8月4日から6日まで、東京・駒沢体育館で行われた全国定時制通信制体育大会の卓球男子個人戦で見事優勝した。品川君は石川県と北信越の定通総体でも個人優勝しており、その活躍ぶりで両大会での男子団体優勝にも導いた。一方、刺激を受けた女子の卓球も県大会でうれしい優勝に輝いた。

活躍する後輩たち

東大5人、京大に15人合格^(27年度)

東大、京大など国立大学の平成27年度入試前期合格者が3月10日までに発表され、母校・泉丘高校から東大に5人（現役4人）、京大に15人（同6人）が合格した。難関2大学の合格者数を他高校と比べると、金大附属（東大、京大とも各7人）、富山県1位の富山中部（東大12人、京大2人）と今年も両校を上回ったものの、泉丘は昨年の合格者（東大11人、京大27人）と比べるともの足りなく苦戦を強いられたようである。

その他の難関国立大では阪大23人、名大、神大各10人、東北大、北大各6人、一橋大、東工大各3人、九大2人だった。

また、金大には71人（現役56人）、うち医学部医学科には10人（同6人）が合格した。医学科全体の合格者は14人で、このうち東北大に2人、神大に1人（いずれも過年度生）が合格した。



鉄道研が2年連続全国3位

泉丘高校鉄道研究同好会の大河原明翔部長（2年）ら4人が8月4、5日、岐阜市で開かれた全国高校郷土研究大会に出場、3月に開業した「北陸新幹線の影響調査」について発表＝写真＝、全国3位の優良賞に輝いた。

概要から提言まで5章にまとめ、特に3章の「地域への経済効果」が評価された。JR西日本金沢支社や金沢駅、石川県庁、金沢市役所に出かけ、観光客増の実態を調べた。

鉄道研究同好会は26年度も全国3位。28年

度の島根大会では最優秀賞を狙っており、のと鉄道など「地方鉄道の活性化」について調べ、発表することになっている。

◆美術部6人と写真部3人が全国へ

27年度の石川県高文連大会が11月16日から20日までの5日間、金沢駅地下の「もてなしドーム」で開かれ、泉丘から美術部の6人と写真部の3人が28年夏、広島県で開かれる全国高文連大会への出品と出場が決まった。

美術部の最優秀賞は1、2年生6人の共同制作の「金剛泉土像」。写真部は2年・越後直哉君の「護」と1年・宮田理央君の「捕食者」が最優秀賞、2年・岡伊織さんの「秋麗～ベゴニアの朝」が優秀賞に選ばれた。

◆水野雄伸投手（3年）が優秀投手に

石川県高野連は8月10日、27年度優秀選手27人を発表、泉丘から水野雄伸投手が選ばれた。水野投手は大聖寺を4安打1失点で4－1の勝利、錦丘にも4安打、11奪三振、無四球、自らの3点本塁打で完封勝ち、3回戦の鵬学園戦は7回に捕まり2－7で敗れた。

＜編集後記＞

このところ同窓会の総会・懇親会の席上、一泉のオリジナルグッズを販売し、益金を母校に寄贈するのが流行っており、各期が商品開発を競っている。27年度関東一泉同窓会では幹事の泉丘36期（土井下健治代表）が、金沢銘菓の落雁を土産に出して好評だった。

らくがんの諸江屋特製の中一・泉丘校章落雁で、直径4㌘、深さ3㌘の押し型を作り、一中は白、泉丘は緑で中はつぶあん入り。一中・泉丘のセットで参加者に渡された。

諸江屋ではせっかくの押し型を生かすため一泉同窓生に限り注文を受けることにした。値段は1箱10個入りで1080円。関東勢が帰省土産によく利用しているとか。注文は10個以上で1週間前となっている。（N）

「一泉」編集室

中山一郎（泉丘10期） 浅香以都子（同10期）
小林弘子（同12期）

題字・普神貴行（一中56期・泉丘2期）